

# 競走社会から共創社会へ

Managing Director

Keigo Kimura

**フラワーポスト社マネージングディレクター木村圭吾氏。主に相続事業継承、事業継承型M&Aを担当する他、ファイナンシャルアドバイザーとして、多方面で活躍する彼は、他の社員とは少し違う、働くことへの意味があった。**

—改めて、自己紹介をお願いします

木村圭吾、フラワーポストのマネージングディレクター、つまり常務取締役です。阪林社長とご縁がありフラワーポストには今年の春で2年になります。前職で保険、相続、事業継承コンサルをしています。前職にBNIで、阪林社長に出会いました。コミュニケーションをとる中で、阪林社長となら、フラワーポストなら、今までの経験を活かせる！と思い入社を決めたんです。

—今までの経験、というと…

実は僕が大学卒業する頃は就職氷河期真っ只中でした。大学卒業後、実家が造園業をしていたこともあり、図面作成の専門学校に通ってその後デザイン会社に勤めましたが、なんと入社3ヶ月で倒産！最後は6万円だけ渡されるという経験を25歳でした。そこからしばらく図面を描くアルバイトで食い繋ぎましたが、この時は本当に明日のご飯があるかないかの戦いでしたね笑

—す、凄い経験でしたね…その後はどうなされたんですか？

飲食会社で正社員として11年働きました。そこでは競争社会、数字との戦い。36歳で保険会社に転職、今の財務や相続、M&A、FPのスキルに繋がりました。本当に、沢山の経験をしたと思います。良かったことも悪かったこともありますが、全てに今に繋がってるんです。

—木村さんの「これまで」、かなり濃い経験されてきたんですね…会社として、個人として「これから」の目標を教えてください！

やはり、フラワーポストの拡大です。売り上げ、人材の両方で伸ばしていきたいと思っています。個人の目標でもあります。私にとって「安定して働けること」は、本当にありがたいことです。あとは…奥さんと城崎温泉にでも旅行行きたいなあ…あ！今日で結婚10年だ！（取材日21年3月10日。おめでとうございました！）

—フラワーポストの可能性はどこにあると思いますか？

フラワーポストは、柔軟性を感じます。スピード感がある。そして組織の中で年齢関係なくフラットに、誰の意見にも耳を傾け、意見の交換ができる。また、この若い会社で若い人と働き、若い感性を得られることは、僕にとっても幸せなことです。

—挑戦したいことは、ありますか？

最近、人が増えてきました。嬉しいことです。変わりゆく時代の中でも常に新しい価値観を取り入れ、世の中に驚きと感動を与え続けるプロフェッショナル集団で在れるように、仲間と共に成長したい、そのために、社内での深いコミュニケーションを取る機会を積極的に持ちたいです。

—最後にメッセージをお願いします

生きてきた過程を素直に表現してください。それを受け止める人間が必ずいます。ありのままの表現を、研ぎ澄ませばそれが世の中に刺さっていくと思います。

